

経営指導員が発見! キラ★星企業

No.77

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。
そのなかで、当所経営指導員が会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



今までの歩み

「黒木工業株式会社」は、1939年に現社長である黒木亜矢子氏の祖父・黒木慶憲氏が創業した、独自の溶接・接合技術で機械部品の製造・補修を行う企業である。同社の溶接技術は慶憲氏が大阪大学と共同で開発した独自技術で、1951年にはその独自性や先進性が評価されて全国発明表彰を受賞している。この出来事が同社の成長を大きく後押しするターニングポイントになると同時に、機械修理の可能性を全国的に周知することとなった。この溶接技術こそが同社最大の特徴である肉盛溶接だ。同社は先代達の知識と経験に基づいて引き継がれた「技術」と、知恵や創意工夫からなる「技能」をあわせた「総合力」を柱とし約80年にわたり成長してきた。この「総合力」を現在まで継承・発展させることができた秘訣は、働く職人たちが独自の技術に誇りを持ち互いに尊重しあい、「顧客の困りごとに寄り添いたい」という共通の目標を持ち合わせているからだ。同社には若手社員の中にも優秀な人材が多く、離職率が低いのが特徴だ。若手社員には前向きな人が多いため、先輩社員も教え甲斐があるという。これまでの技術承継には、この風通しの良い社内環境も大きく関係しているだろう。また、同社は姫路・堺・名古屋・千葉を拠点として合同で研修会などを実施しており、各地で交流できる環境があるため、社員同士のスキルアップにも繋がっている。知恵や工夫を全国で共有し、多彩な技術や技能をアップデートし続けている同社の今後に目が離せない。

最大の特徴である肉盛溶接とは

肉盛溶接とは、部品本体を溶接材料を盛り上げて亀裂や摩耗を修復する特殊な溶接技術である。前後の検査や熱処理に独自のノウハウがあり、溶接特有の施工後の割れや欠陥をほぼ発生させず、補修後も製鉄ラインの過酷な環境で使用できるような高い溶接品質を提供している。材質に合わせて熱管理を徹底しているため、教科書では溶接に適さないと書かれるほど難しい特殊な材質についても溶接が可能だ。また、取り外し不可能な大型機械部品の補修については、出張工事で職人が直接出向き、現地で補修作業を行っている。顧客の急な機械部品の故障の場合にも、できる限り迅速に対応する。同社

急な機械部品の故障にも対応できる、いわば「機械のお医者さん」。
長年培われた独自の溶接技術と知恵で、
お客様の困りごとにお応えします。

黒木工業株式会社

代表取締役 黒木 亜矢子

の丁寧かつ一切手を抜かない誠実な仕事ぶりには定評がある。さらに補修だけでなく、本体部品の材質と異なる材質を表面に肉盛溶接することで部品の一部だけを強化するなど、いわば表面改質としての溶接施工も可能だ。買い替えなくとも新品同様の部品を提供できることから、顧客からの評判は上々だ。黒木社長は、「難しい溶接でも、黒木工業だからこそ任せられると言っていたときが一番嬉しいですね。社員の誠実な対応を誇りに思います。」と語ってくれた。

電子ビーム溶接でより繊細な溶接を可能に

電子ビーム溶接は、人間の手で施工するには難しい繊細な溶接を可能とする技術で、特殊溶接の分野に将来性を見出した黒木社長の父が導入した。真空中で溶接をするため、酸化・窒化などの大気からの汚染が無く、溶接時に酸化が懸念されるチタンなどの活性金属や、エネルギー密度が高いため、ニオブ・モリブデン・タンタルなどの高融点の素材にも対応できることが特長だ。従来の機械部品補修だけでなく、半導体製造装置部品の製造などにも応用が期待されている。

今後の展望

黒木社長は「お客様からは長年の信頼をいただいているので、その信頼を途切れさせないように今後もお客様のニーズにお応えしていきたいです。また、柱となる伝統的な技術や強みを活かしつつ、新しいことに挑戦して、ものづくりのまち姫路で長く事業を続けていきたいです。後々はやったことのない分野にも挑戦していけたらと考えています。」と語った。同社の今後の活躍にも期待したい。



DATA

事業内容：機械部品の溶接修理、製造、加工、
電子ビーム溶接加工
所在地：〒671-1154 姫路市広畑区吾妻町1-56
電話：079-239-0846
HP：https://www.kuroki.co.jp/kogyo/